

科目ナンバリング		U-LAS02 20030 LJ37							
授業科目名 <英訳>		言語構造機能論 The Structures and Functions of Language				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 GINSBURG, Jason	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		芸術・文学・言語(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
[授業の概要・目的]									
生成文法における統語理論の基礎について学ぶ。特に、併合はどのように言語の主な現象を説明できるのかという問いに答えようとする最新の生成文法の立場から言語学の基礎的な課題を紹介する。									
[到達目標]									
・主に英語と日本語の文の統語構造を例に、生成文法の基礎を学ぶ。 ・二つの統語要素を組み合わせる併合という簡単な操作に基づいた人間言語のなり立ちの問題についての思考力・考察力・研究能力を育むことを目指す。 ・統語理論の基礎的な研究課題を理解できるようになる。									
[授業計画と内容]									
この授業で以下の統語論関連の課題について学ぶ。変更の可能性がある。									
第1回：言語の基本的な特徴、極小主義プログラム(The Minimalist Program)の目的と基礎									
第2回：品詞と形態素、句構造規則、基本的な樹形図の書き方									
第3回：句構造と文の基本的な構造(NP, VP, AdjP, AdvP, PP)									
第4回：句構造と文の基本的な構造(TP, CP)									
第5回：Xバー理論の基礎									
第6回：Xバー理論(NP, VP, AdjP, AdvP, PP)									
第7回：Xバー理論(TP, CP, 意味役割)									
第8回：Xバー理論(θ役割、動詞句内主語仮説)									
第9回：統語要素の移動現象(疑問文など)									
第10回：統語要素の移動現象(疑問文など)									
第11回：能動文と受動文									
第12回：使役文									
第13回：上昇構文とコントロール構文									
第14回：発表、まとめ									
第15回：フィードバック									
[履修要件]									
言語科学I, IIなどの入門科目を履修していることが望ましい。									
[成績評価の方法・観点]									
参加：20%									
宿題と発表：80%									
-----言語構造機能論(2)へ続く↓↓↓									

言語構造機能論(2)

[教科書]

使用しない
資料を配布する（英語で書かれている文献を読む場合がある）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

- ・準備をすること。
- ・宿題をやること。
- ・文献を読むこと。
- ・授業に積極的に参加すること。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]